

県民・事業者・市町村の主な意見の第4次千葉県国土利用計画（県土のグランドデザイン）（素案）との関係

県民の主な意見

- ・行政には限界がある。NPO等、民間の力を活用することが必要
- ・良好な生活水準確保には、環境保全と開発の調和が必要
- ・環境面を重視した計画としてほしい
- ・環境にやさしい農産物のブランド化を進めてほしい、
- ・景観の重視。良い景観は良好な治安に繋がる傾向がある。
- ・美しい海岸線の景観を保全してほしい
- ・農業県として、農業振興を明確にしてほしい
- ・各部局における許認可等の整合性の確保が必要
- ・大規模集客施設により地元の商店街が悪影響を受けている
- ・農山村部を維持していくことも重要
- ・各地域の特性を生かした方向性としてもらいたい
- ・成田と佐原は同じゾーンとして方向性を記述することが適当
- ・北総・南房総ゾーンは観光地アクセスのため道路整備が必要
- ・かずさ・臨海ゾーン等は鳥獣被害対策も重要
- ・南房総ゾーンについて、田舎への移住希望者が増えている。
- ・ゴミ等、廃棄物の減少に取り組んでもらいたい
- ・農産物の安全のため良質な土壌環境の確保を目指すべき
- ・地震への対策を盛り込んでほしい
- ・地元の雇用を生むような地域の活性化が必要
- ・農地の保全に向けた線引きの実施が必要
- ・都市と農村の交流の促進が必要
- ・農業の担い手の育成を促進してほしい
- ・耕作放棄地の発生防止や有効利用を進めてほしい
- ・NPO活動の活発化等により里山の保全・整備を進めてほしい
- ・森林・里山の保全に企業にも参加してほしい
- ・水害対策として河川の整備をお願いしたい
- ・多自然型の水路を整備してほしい
- ・高速道路、地域の基幹道路の整備をお願いしたい
- ・道路整備に当たっては自然環境に配慮してもらいたい
- ・住宅の耐震性の強化を図ることが重要である
- ・コンパクトなまちづくりを進めてもらいたい
- ・様々な事業者の参画も必要
- ・モニタリングは県民による評価や県民にわかりやすい指標が必要

第4次千葉県国土利用計画(県土のグランドデザイン)

- 計画策定の背景
- 計画の基本目標
- 県土利用の基本方針
- ・ 多様な主体との連携・協働による県土利用
  - ・ 土地需要の量的調整
  - ・ 県土の質的向上・有効利用
    - 1 健全な循環が維持され地球温暖化を防止する
    - 2 安全で安心できる暮らしの確保
    - 3 良好な景観の保全・形成
    - 4 人と自然との共生
    - 5 地域の多様性・魅力を生かした活力の創出
    - 6 世界に開かれた県土利用
  - ・ 県土利用の総合的なマネジメント
- 社会の構築
- 県土の利用目的に応じた区分に係る基本的な方向
- ・ 農用地、森林、原野、水面・河川・水路、道路、宅地
  - ・ 区分横断的な課題
    - 1 持続可能なまちづくり
    - 2 廃棄物・建設発生土・山砂採取跡地等への対応
- 県土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標
- 地域別に目指す方向性
- ・ 東葛飾ゾーン、湾岸ゾーン、北総ゾーン、千葉東部ゾーン、かずさ・臨海ゾーン、南房総ゾーン
- 計画を実現するための措置と推進体制
- ・ 国土利用計画法等の適切な運用、県土の質的向上・有効利用の促進、土地利用転換の適正化、県土の利用目的に応じた区分に係る基本的な方向への対応
  - ・ 推進体制
  - ・ 県土利用のモニタリング制度・計画評価制度の導入

事業者・市町村の主な意見

- ・耕作放棄地、里山保全、土砂採取跡地等、新たな課題が顕在化(成田)
- ・県以外に、民間・市町村が主体的に取り組むことが重用(観光業)
- ・農地の保全は重要だがTX沿線等、開発が必要な地域もある(宅建業)
- ・様々な県土利用上の課題に対応した計画としてほしい(館山)
- ・利便さ・経済的豊かさだけでなく、自然との共生等、環境へ配慮した計画としてほしい(神崎・山武)
- ・資源循環型都市の構築を目指す計画としてほしい(市原)
- ・災害に強い県土の形成が必要(大多喜、神崎、浦安)
- ・農山村部の県民も豊かさを実感できる方針としてほしい(東庄)
- ・県土の均衡ある発展はこれからの時代、難しいのではないか(浦安)
- ・情報化の推進についても記述してほしい(多古)
- ・大規模小売店舗との共生は難しい。(商業)
- ・コンパクトなまちづくりを目指す方向性を盛り込むべき(船橋・市原)
- ・地域別の方向性を示すことは重要(宅建業)
- ・河川・湖沼が多いこの地域は水害対策が重要(野田)
- ・文化施設・商業施設等の都市機能の集積による発展(鎌ヶ谷)
- ・空港や歴史・文化遺産の活用、観光・農業の振興(香取・成田)
- ・千葉東部ゾーンは個性・特色が弱いのでインパクトあるものを(東庄)
- ・豊かな自然を生かし、環境と調和したまちづくりを(君津)
- ・海岸侵食対策を進めていく必要がある(一宮、長生)
- ・交通結節点の長所を生かし産業集積等を目指すことが重要(木更津)
- ・自然を生かし都市部からの定住促進を目指すことが重要(いすみ)
- ・中山間地域の担い手不足、鳥獣被害に悩まされている(南房総)
- ・観光の振興に当たっては、道路整備を期待している。(観光業)(君津)
- ・無秩序な市街化の抑制と自然環境との調和の取れた土地利用(八街)
- ・耕作放棄の防止には農業経営の改善・基盤強化が必要(農業)
- ・農業経営には販路開拓、付加価値の付与等、自己努力も必要(農業)
- ・林業は木材価格の低下等で衰退、金銭的に余裕のある所有者だけが維持管理している状況(林業)
- ・土地利用には都市計画法の用途地域等のゾーニングが重要(商業)
- ・良好な住環境には都市部の公園緑地の整備が重要(宅建業)
- ・疲弊している中心市街地の活性化に手を打つ必要がある(商業)